

早産児、低出生体重児の治療を受けられる赤ちゃんのご家族へ

経過	入院日	保育器に入っている間
目標	呼吸・循環・体温などの全身状態が安定する	・全身状態が安定する ・新生児用ベッドへ移る
経過治療	<input type="checkbox"/> 心拍数・呼吸数・酸素飽和度を観る為の、モニターをつけて全身状態を観察します。 <input type="checkbox"/> 必要時、酸素や人工呼吸器を使用する事があります。 <input type="checkbox"/> 必要時、水分や栄養管理のため輸液を行います。 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin-top: 10px;">    </div>	<input type="checkbox"/> モニターは、継続して使用します。 <input type="checkbox"/> 検査結果により黄疸の光線療法を行う場合があります。 <input type="checkbox"/> ミルクの量が十分に増えたら、輸液が中止になります。 <input type="checkbox"/> 清潔を保つため毎日赤ちゃんの体を拭きます。 <input type="checkbox"/> 36週未満で出生された赤ちゃんは毎月1回シナジス注射を行います。 (鹿児島県の接種時期：7月～3月)
検査	<input type="checkbox"/> 採血・レントゲン・超音波などの検査を行います。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<input type="checkbox"/> 生後5日目に、先天性代謝異常の検査を行います。 <input type="checkbox"/> 眼の検査を行います。(34週未満、又は体重1500g以下の赤ちゃん) <input type="checkbox"/> 定期的に採血を行い、黄疸や感染症のチェックを行います。
環境	<input type="checkbox"/> 安定した体温を保つために保育器の中で過ごします。	<input type="checkbox"/> 全身状態が安定し体温調節ができるようになったら新生児用ベッドへ移ります。 *35週以降、体重1600g以上 *全身状態が安定している *保育器温度が31.0℃以下で体温が安定している
栄養	<input type="checkbox"/> 全身状態が安定していれば、出生8時間後から、母乳またはミルクを開始します。 <input type="checkbox"/> 35週未満、体重1600g以下の赤ちゃんはチューブをお口から胃まで入れて母乳またはミルクを注入します。	<input type="checkbox"/> 経口哺乳は35週以降より始まります。(医師の指示は14時から変更になります) *1日8回の授乳時間は14時.17時.20時.23時.2時.5時.8時.11時です。 *状態により10回、12回と回数が異なります。 12回…14時.16時.18時.20時.22時.0時.2時.8時.10時.12時 10回…14時.16:30.19時.21:30.0時.2時.4:30.7時.9:30.12時
説明指導その他	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんの病状説明や入院生活などについて説明します。 *医師より：病状説明 <input type="checkbox"/> メディカルクラークまたは看護師より*入院オリエンテーション <input type="checkbox"/> ご家族に準備していただくもの *育児日誌 (※希望時、インスタントカメラ) *生後4日目までに、先天性代謝異常検査の申し込み書を病棟へ提出して下さい。 *養育医療申請の手続きがお済みになりましたら看護師にお知らせ下さい。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<input type="checkbox"/> 病状説明のご希望があれば、看護師へご都合の良い日をお伝え下さい。 <input type="checkbox"/> 医師の許可によりご両親が参加できるケア *抱っこ *オムツ交換 *母乳またはミルクの注入、授乳、直接母乳 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin-top: 10px;">   </div> <input type="checkbox"/> 必要時、母乳分泌維持の方法を説明します。 <input type="checkbox"/> 退院後の育児サポート行う保健師が入院中に病院へ訪問しご家族と面談します。 <input type="checkbox"/> 対象の方はフォローアップ手帳を交付します。 <input type="checkbox"/> 面会時は赤ちゃんのごきょうだいの保育サービスが利用できます。(事前予約)

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わります

平成30年8月作成40007 (Ver.7) 40008 (Ver.9)

早産児、低出生体重児の治療を受けられる赤ちゃんのご家族へ

経過	新生児用ベットへ移床後	退院へ向けて
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・上手に哺乳ができる ・体重が順調に増加していく ・育児手技が習得できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・順調に発育・発達する ・ご家族の退院準備が整う
経過治療	<input type="checkbox"/> 毎日沐浴を行います。 	 <div style="text-align: center; background-color: #ffffcc; padding: 10px; border: 1px solid black;"> 退院おめでとう ございます </div> 
検査	<input type="checkbox"/> 退院前の検査を行います。（採血、聴力検査など） ＊MRI は入院中又は退院後フォローアップ外来で行います。 	 <div style="text-align: center;"> <退院の目安> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・修正週数37週以降 ・体重2500 g 以上 ・哺乳良好 ・退院前の検査が終了している ・全身状態が安定している ・授乳など育児手技が習得できている ・自宅の準備が整っている 
環境	<input type="checkbox"/> 新生児用ベットで過ごします。 	
栄養	<input type="checkbox"/> 哺乳が良好なら、1日6～7回、赤ちゃんが欲した時に飲みたい量を飲ませる自律哺乳になります。 	 
説明指導その他	<input type="checkbox"/> 沐浴や授乳・直接母乳などの育児指導を行います。 ※自律哺乳になったら、退院に向けてご家族主体でケアを行っていただきます。  <input type="checkbox"/> 退院の準備を始めて下さい。 <input type="checkbox"/> 医師より聴力とMRIの検査結果を説明し正常であれば退院日が決まります。 <input type="checkbox"/> 退院後の生活に向けて両親学級へのご案内をします。 <input type="checkbox"/> 必要時訪問看護サービスについて案内し、ご家族と訪問看護師の面談を行います 	<input type="checkbox"/> 看護師より ＊育児指導を行います。 ＊出生連絡票を保健センターに提出し、担当の保健師へ退院後の育児サポートを依頼します。  <input type="checkbox"/> 医師より ＊退院前の病状説明 ＊診療情報提供書を準備しますので、かかりつけ医、小児科を決めてお知らせ下さい。 <input type="checkbox"/> 薬剤師より ＊退院処方がある場合、お薬の飲ませ方の説明をします。  <input type="checkbox"/> 退院前に予約します。 ＊フォローアップ外来 ＊シナジス外来（当院で希望される場合） <input type="checkbox"/> 退院日に持参して頂くもの <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #e0f0ff; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 母子手帳・保険証 <input type="checkbox"/> 着物一式 <input type="checkbox"/> おくるみorバスタオル <input type="checkbox"/> チャイルドシート ※車でお帰りの場合は必ずご用意ください。 </div>  

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わります

平成30年8月作成40007 (Ver.7) 40008 (Ver.9)